
私立Rider学園

ゼロライダー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私立Rider学園

【Nコード】

N0102L

【作者名】

ゼロライダー

【あらすじ】

私立Rider学園に通う人々を描いたラブコメです。
メインはディケイドの面々ですが、平成仮面ライダーの登場人物も続々と出てきます。

結構キャラが崩壊しているし、オリジナルな設定がありますのでご注意ください。

一話一話は短いかもしれませんが頑張って書いていきますのでよろしく願います。

第一話光夏美の朝（前書き）

今回はディケイドの夏みかんこと光夏美の視点で話が進みます。

ちなみにユウスケ、士、夏美は幼なじみで同じクラスです。

キャラ崩壊があるかもしれません。

では第一話光夏美の朝をご覧ください。

ちなみに夏美はまだ笑いのツボを習得してません。

第一話光夏美の朝

私立Rider学園そこは普通の人々が普通に通う普通の高校である。そこに通う普通の女子高生の日時を見てみよう。

私は光 夏美。私立Rider学園に通う高校2年生です。

私には幼なじみが3人もいるのですが・・・

そんな話をしてると後ろから幼なじみの一人が。

「夏美ちゃんおはよう。」

「おはようございますユウスケ。」

「いやあ、いつも綺麗だね。俺の彼女にならない？」とサムズアツプしながら告白をする

「なに言っているんですかユウスケ。もうそれで1850回目ですよ。いつまで言いつづけるんですか？」

「いやあ、夏美ちゃん細かいね？やっぱり士一筋かな？」

「もう、ユウスケったら朝からなにをいつているんですか！ばか！」
とユウスケから離れるように歩きます。

「ちょっ、夏美ちゃん待って。」

「待ちません!」

と私を追いかけるのは小野寺ユウスケ、私の幼なじみの一人です。
毎朝必ず告白をしてくるのですが・・・気持ちはいれしいのですが・
・

「あつ、士だ。オーイつかさー。」

「なんだ朝から煩いぞユウスケ。それより夏みかんなんで俺を起こさなかったんだ?」

「夏みかんじゃなくて夏美です。それにちゃんと私はね起こしました!起きなかった士君が悪いんです。」

髪をかきながら話しをしてくるのはユウスケと私の幼なじみの門矢士君。そして私の片思いの人。本人は気づいていないですが・・・

今同じ家に住んでいます。同棲じゃないですよ、士君の両親が海外にいるため家で預かっているんです。

「夏みかん、俺の弁当は?」

「ちゃんと持ってますよ。私が持ってこないとすぐ忘れるんですから。」

「いいなあ士、夏美ちゃんの手作り弁当かあ」

「ユウスケこの弁当はじいさんが作ったのだ。夏みかんのは食べたものではないからな。」

「士君ひどいです。」

「まあまあ士、夏美ちゃんのこと悪く言わないでさ。な、な、」

とケンカもしながら3人で学校へ向かいます。これが私の毎朝の光景です。

第一話光夏美の朝（後書き）

いかがだったでしょうか？

少しずつ書いていきますので応援よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0102l/>

私立Rider学園

2011年10月5日13時11分発行